

# 平成22年度(2010年度) 事業報告書

## 公益事業

平成22年度は改訂した寄付行為(定款)4条に定める事業を下表のとおり行いました。前年に引き続き連合及び労福協への助成に加えて、NPO活動支援の取り組み、連合しあわせセンター運営負担金拠出等公益目的と認められる団体への支出を拡大しました。また、一般財団法人移行の条件整備の一つとして、当協会の事業を広く明らかにすべくホームページの改善(事業報告及び財務諸表他の掲示)を図りました。

1	本年度は寄付行為で定める以下の事業について実行しました。	合計(除く貸付)	9,879,131円
	(1) 勤労者の生活福祉の調査研究		
	(2) 勤労者の教養文化向上		
	(3) 労働者福祉事業団体に対する低利融資・助成事業		7,620,000円
	(4) 労働者福祉施設の維持、管理～別項「収益事業」に記す		
	(5) 地域や社会に役立つ人づくり支援事業		2,025,000円
	(6) 労働者の福祉向上を目指す県内非営利団体等への低利融資・助成事業		200,000円
		(貸付)	5,000,000円
	(7) その他この協会の目的を達成するために必要な事業		34,131円

## 2 一般財団法人移行への条件整備を進めています

一般財団法人移行は平成24年度(2012)を予定していますが、本年度は移行業務委嘱の税理士から会計指導を受けているほか、茨城県所管部署と公益目的支出計画に搭載する継続事業について相談等を行いました。更にホームページの改善や助成先団体と助成金取扱いについて調整を進めています。

## 収益事業

平成22年度は、ラウエル鹿嶋の全労済事務室の拡張、同牛久の全労済事務室及び出会いサポートセンター事務室の拡張を実行しました(牛久は震災の影響により工事は23年度実施)。いずれも両団体より事務室狭隘状況について対策要望が寄せられていたものです。また、労働福祉会館は会議室利用が順調に拡大していましたが、3月11日地震以降、全ての利用がキャンセルされたことにより、利用回数実績は21年度を下回りました。また、会館の空調機・受変電設備・建物内外装に大きな損傷を受け、入居各団体・会議室利用団体にご迷惑をおかけすることとなりました。一方、会館2階の共用スペースをNPOの震災支援物資の集積及びボランティアセンターとして活用することができ、公益法人としての一つの役割発揮と捉えています。

## 1 本年度はラウエル鹿嶋及び牛久について以下の施策を実行しました。

- (1) ラウエル鹿嶋の全労済事務室エリアを増築しました。
  - ・ 鉄骨平屋造り37.44㎡の建物を増築し、事務室拡張、応接室・倉庫を新設しました。
- (2) ラウエル牛久の会議室を活用して事務室を増床しました。
  - ・ 1階出会いサポートセンター事務室を2階会議室に移動しました。
  - ・ 移動後の出会いサポートセンター事務室は、全労済事務室に変更しました。

## 2 本年度のラウエル牛久・鹿嶋及び労働福祉会館の利用及び管理状況、その他事業は以下のとおりです

### (1) 会議室利用状況と建物修繕状況

会議室	ラウエル牛久				ラウエル鹿嶋				労働福祉会館			
	団体	回数	前年比	回数	団体	回数	前年比	回数	団体	回数	前年比	回数
	11	76	▲7	▲20	21	65	▲9	▲27	69	489	3	▲5
	前年比				前年比				前年比			

※新規団体10

### (2) その他事業

以上